

令和6年度 東京都立足立特別支援学校 年間指導計画

学部		高等部 普通科	学年	2年	学習グループ	重度・重複(3人)	教科等名	美術	
年間授業時数		62		使用教室	美術室		陶芸室	使用教科書	美術資料(秀学社)
曜日・校時 担当教員		金曜日	5時間目 (13:15~14:05)	MT	藤澤 由佳	ST	田中 美奈 岡田雅人	池田光希	
		金曜日	6時間目 (14:10~15:00)	MT	藤澤 由佳	ST	田中 美奈 岡田雅人	池田光希	
ね ら い	(1)	・作品を作る楽しさや喜びを感じたり、飾ったりする。							
	(2)	・道具や素材を適切に扱う経験を増やし表現の幅を広げる。							
	(3)	・自然や優れた作品を鑑賞し、その美しさ等を感じ取る。							
学期	単元名	月	時数	主な学習内容		ねらい		手だて	
1 学 期	オリエンテーション 工作	4	6	・自己紹介 ・作って遊べる工作		・好きな色を選択する。 ・手順がわかる。 ・作ったもので遊ぶ。		・選択する色や素材を用意し、自分で選択できるようにする。 ・手順をわかりやすく示す。	
	体育祭に向けて 体育祭の思い出	5	6	・ポスターの内容に応じた表現 ・工作		・好きな色や形の紙を選び、ポスターを完成できるようにする。		・ポスターの見本、レタリングの方法、競技の内容などを提示し、見直しをもって取り組めるよう工夫する。	
	季節をテーマとした 絵画	6	4	・花や果物の観察、描画 ・いろいろな素材について		・はさみやのり等の道具の使い方を知り、自分で安全に扱えるようになる。 ・いろいろな素材に触れ、違いや使い方について知識を深める。		・道具を実際に扱って体験し、正しい使い方を身につける。 ・様々な種類の素材を用意し、扱い方を分かりやすく伝える。	
	絵画技法	7	4	・削り絵の制作 (スクラッチボード) ・効果的な彩色		・身近な材料でスクラッチアートを制作できることを知る。 ・安全を意識してスクラッチ技法を知り、その表現の面白さを知る。		・取り組みやすいよう事前に題材を決めておく。 ・参考作品を準備する。	
2 学 期	光をテーマに	9	8	・スタンドグラスアート		・はさみやのり等の道具の使い方を知り、自分で安全に扱えるようになる。 ・いろいろな素材に触れ、違いや使い方について知識を深める。		・道具を実際に扱って体験し、正しい使い方を身につける。 ・様々な種類の素材を用意し、扱い方を分かりやすく伝える。	
	移動学習に向けて 移動学習の思い出	10	6	・移動学習の事前学習と思い出作品作り		・自分の経験と印象を通じたイメージを、上手に表現できる力をつける。		・活動内容を写真などで振り返り、イメージをもちやすくする。	
	立体造形	11	4	・粘土を使った立体造形		・粘土に触ったり、形を作ったりする。 ・大まかに手順を理解する。		・手順書を用意する。 ・道具を安全に扱えるように環境を整える。	
	季節の工作	12	4	・オリジナルツリー ・干支にまつわる制作		・はさみやのり等の道具の使い方を知り、自分で安全に扱えるようになる。 ・いろいろな素材に触れ、違いや使い方について知識を深める。		・道具を実際に扱って体験し、正しい使い方を身につける。 ・様々な種類の素材を用意し、扱い方を分かりやすく伝える。	
3 学 期	学習発表会	1	8	・大道具、小道具作り ・学習発表会の思い出		・友達と協力して制作する。 ・学習発表会の写真を装飾する。		・行事と関連をもたせ、意識を高める。 ・学習発表会の写真を1人ずつ用意する。	
	季節の制作	2	8	・バスボムを作ろう ・手作り自画像		・道具の使い方を知り、自分で安全に扱えるようになる。 ・いろいろな素材に触れ、違いや使い方について知識を深める。		・道具を実際に扱って体験し、正しい使い方を身につける。 ・様々な種類の素材を用意し、扱い方を分かりやすく伝える。	
	1年間のまとめ	3	4	・共同制作 ・作品鑑賞 ・作品ポートフォリオ		・協力して制作する。 ・一年間の自分の活動を振り返り、作品を見る。		・経験したことのある題材を設定し、主体的に取り組みやすいようにする。 ・自分の作品を一つずつ鑑賞し、達成感を味わえるような言葉かけをする。	

令和6年度 東京都立足立特別支援学校 年間指導計画

学部		高等部 普通科	学年	2年	学習グループ	A1(6人)	教科等名	美術	
年間授業時数		62		使用教室	美術室		陶芸室	使用教科書	美術資料(秀学社)
曜日・校時 担当教員		金曜日	5時間目(13:15~14:05)	MT	藤澤 由佳	ST	田中美奈 林紀子 岡田雅人	池田光希 熊坂鉄平 小出順子	
		金曜日	6時間目(14:10~15:00)	MT	藤澤 由佳	ST	田中美奈 林紀子 岡田雅人	池田光希 熊坂鉄平 小出順子	
ね ら い	(1)	・作品を作る楽しさや喜びを感じたり、飾ったりする。							
	(2)	・道具や素材を適切に扱う経験を増やし表現の幅を広げる。							
	(3)	・自然や優れた作品を鑑賞し、その美しさ等を感じ取る。							
学期	単元名	月	時数	主な学習内容		ねらい		手だて	
1 学 期	オリエンテーション 工作	4	6	・自己紹介 ・作って遊べる工作		・好きな色を選択する。 ・手順がわかる。 ・作ったもので遊ぶ。		・選択する色や素材を用意し、自分で選択できるようにする。 ・手順をわかりやすく示す。	
	体育祭に向けて 体育祭の思い出	5	6	・ポスターの内容に応じた表現 ・工作		・好きな色や形の紙を選び、ポスターを完成できるようにする。		・ポスターの見本、レタリングの方法、競技の内容などを提示し、見直しをもって取り組めるよう工夫する。	
	季節をテーマとした 絵画	6	4	・花や果物の観察、描画 ・いろいろな素材について		・はさみやのり等の道具の使い方を知り、自分で安全に扱えるようになる。 ・いろいろな素材に触れ、違いや使い方について知識を深める。		・道具を実際に扱って体験し、正しい使い方を身につける。 ・様々な種類の素材を用意し、扱い方を分かりやすく伝える。	
	絵画技法	7	4	・削り絵の制作(スクラッチボード) ・効果的な彩色		・身近な材料でスクラッチアートを制作できることを知る。 ・安全を意識してスクラッチ技法を知り、その表現の面白さを知る。		・取り組みやすいよう事前に題材を決めておく。 ・参考作品を準備する。	
2 学 期	光をテーマに	9	8	・スタンドグラスアート		・はさみやのり等の道具の使い方を知り、自分で安全に扱えるようになる。 ・いろいろな素材に触れ、違いや使い方について知識を深める。		・道具を実際に扱って体験し、正しい使い方を身につける。 ・様々な種類の素材を用意し、扱い方を分かりやすく伝える。	
	移動学習に向けて 移動学習の思い出	10	6	・移動学習の事前学習と思い出作品作り		・自分の経験と印象を通じたイメージを、上手に表現できる力をつける。		・活動内容を写真などで振り返り、イメージをもちやすくする。	
	立体造形	11	4	・粘土を使った立体造形		・粘土に触ったり、形を作ったりする。 ・大まかに手順を理解する。		・手順書を用意する。 ・道具を安全に扱えるように環境を整える。	
	季節の工作	12	4	・オリジナルツリー ・干支にまつわる制作		・はさみやのり等の道具の使い方を知り、自分で安全に扱えるようになる。 ・いろいろな素材に触れ、違いや使い方について知識を深める。		・道具を実際に扱って体験し、正しい使い方を身につける。 ・様々な種類の素材を用意し、扱い方を分かりやすく伝える。	
3 学 期	学習発表会	1	8	・大道具、小道具作り ・学習発表会の思い出		・友達と協力して制作する。 ・学習発表会の写真を装飾する。		・行事と関連をもたせ、意識を高める。 ・学習発表会の写真を1人ずつ用意する。	
	季節の制作	2	8	・バスボムを作ろう ・手作り自画像		・道具の使い方を知り、自分で安全に扱えるようになる。 ・いろいろな素材に触れ、違いや使い方について知識を深める。		・道具を実際に扱って体験し、正しい使い方を身につける。 ・様々な種類の素材を用意し、扱い方を分かりやすく伝える。	
	1年間のまとめ	3	4	・共同制作 ・作品鑑賞 ・作品ポートフォリオ		・協力して制作する。 ・一年間の自分の活動を振り返り、作品を見る。		・経験したことのある題材を設定し、主体的に取り組みやすいようにする。 ・自分の作品を一つずつ鑑賞し、達成感を味わえるような言葉かけをする。	

令和6年度 東京都立足立特別支援学校 年間指導計画

学部		高等部 普通科	学年	2年	学習グループ	A2・3グループ(16人)	教科等名	美術	
年間授業時数		64		使用教室	美術室		陶芸室	使用教科書	美術資料 (秀学社)
曜日・校時 担当教員		火曜日	2時間目 (9:40~10:30)	MT	林 紀子	ST	藤澤 由佳		
		火曜日	3時間目 (10:35~11:25)	MT	林 紀子	ST	藤澤 由佳		
ね ら い	(1)	・作品を作る楽しさや喜びを感じたり、飾ったりする。							
	(2)	・道具や素材を適切に扱う経験を増やし表現の幅を広げる。							
	(3)	・自然や優れた作品を鑑賞し、その美しさ等を感じ取る。							
学期	単元名	月	時数	主な学習内容		ねらい		手だて	
1 学 期	オリエンテーション 工作	4	6	・自己紹介 ・作って遊べる工作		・好きな色を選択する。 ・手順がわかる。 ・作ったもので遊ぶ。		・選択する色や素材を用意し、自分で選択できるようにする。 ・手順をわかりやすく示す。	
	体育祭に向けて 体育祭の思い出	5	8	・ポスターの内容に応じた表現 ・工作		・好きな色や形の紙を選び、ポスターを完成できるようにする。		・ポスターの見本、レタリングの方法、競技の内容などを提示し、見直しをもって取り組めるよう工夫する。	
	季節をテーマとした絵画	6	4	・花や果物の観察、描画 ・いろいろな素材について		・はさみやのり等の道具の使い方を知り、自分で安全に扱えるようになる。 ・いろいろな素材に触れ、違いや使い方について知識を深める。		・道具を実際に扱って体験し、正しい使い方を身につける。 ・様々な種類の素材を用意し、扱い方を分かりやすく伝える。	
	絵画技法	7	6	・削り絵の制作 (スクラッチボード) ・効果的な彩色		・身近な材料でスクラッチアートを制作できることを知る。 ・安全を意識してスクラッチ技法を知り、その表現の面白さを知る。		・取り組みやすいよう事前に題材を決めておく。 ・参考作品を準備する。	
2 学 期	光をテーマに	9	8	・スタンドグラスアート		・はさみやのり等の道具の使い方を知り、自分で安全に扱えるようになる。 ・いろいろな素材に触れ、違いや使い方について知識を深める。		・道具を実際に扱って体験し、正しい使い方を身につける。 ・様々な種類の素材を用意し、扱い方を分かりやすく伝える。	
	移動学習に向けて 移動学習の思い出	10	8	・移動学習の事前学習と思い出作品作り		・自分の経験と印象を通じたイメージを、上手に表現できる力をつける。		・活動内容を写真などで振り返り、イメージをもちやすくする。	
	立体造形	11	2	・粘土を使った立体造形		・粘土に触ったり、形を作ったりする。 ・大まかに手順を理解する。		・手順書を用意する。 ・道具を安全に扱えるように環境を整える。	
	季節の工作	12	8	・オリジナルツリー ・干支にまつわる制作		・はさみやのり等の道具の使い方を知り、自分で安全に扱えるようになる。 ・いろいろな素材に触れ、違いや使い方について知識を深める。		・道具を実際に扱って体験し、正しい使い方を身につける。 ・様々な種類の素材を用意し、扱い方を分かりやすく伝える。	
3 学 期	学習発表会	1	4	・大道具、小道具作り ・学習発表会の思い出		・友達と協力して制作する。 ・学習発表会の写真を装飾する。		・行事と関連をもたせ、意識を高める。 ・学習発表会の写真を1人ずつ用意する。	
	季節の制作	2	4	・バスボムを作ろう ・手作り自画像		・道具の使い方を知り、自分で安全に扱えるようになる。 ・いろいろな素材に触れ、違いや使い方について知識を深める。		・道具を実際に扱って体験し、正しい使い方を身につける。 ・様々な種類の素材を用意し、扱い方を分かりやすく伝える。	
	1年間のまとめ	3	6	・共同制作 ・作品鑑賞 ・作品ポートフォリオ		・協力して制作する。 ・一年間の自分の活動を振り返り、作品を見る。		・経験したことのある題材を設定し、主体的に取り組みやすいようにする。 ・自分の作品を一つずつ鑑賞し、達成感を味わえるような言葉かけをする。	

令和6年度 東京都立足立特別支援学校 年間指導計画

学部	高等部 普通科	学年	2年	学習グループ	A4グループ(7人)	教科等名	美術
年間授業時数	60	使用教室	美術室	使用教科書		美術資料 (秀学社)	
曜日・校時 担当教員	木曜日	5時間目 (13:15~14:05)	MT	藤澤由佳	ST	田中 美奈	
	木曜日	6時間目 (14:10~15:00)	MT	藤澤由佳	ST	田中 美奈	
ねらい	(1) ・表現する楽しさや喜びを味わい、色や形を生かして進んで制作する。						
	(2) ・様々な素材や用具に触れ、適切に扱う。						
	(3) ・日本の伝統工芸について知り、良さに気付く。						
学期	単元名	月	時数	主な学習内容	ねらい	手だて	
1 学期	オリエンテーション 色の作り方	4	2	・色相環、補色、反対色 ・モダンテクニック	・色を自分で選び混色をする。 ・モダンテクニックに興味をもつ。	・実際に色を混ぜて変化を体験し、視覚的に分かりやすくする。 ・簡単にモダンテクニックできるような教材を工夫する。	
	体育祭に向けて	5	8	・体育祭ポスターの内容に応じた表現 ・工作	・好きな色や形の紙を選び、ポスターを完成できるようにする。 ・体育祭の思い出を振り返って制作する。	・ポスターの見本、レタリングの方法、競技の内容などを提示し、見直しをもって取り組めるよう工夫する。	
	季節をテーマとした絵画	6	4	・花や果物の観察、描画 ・いろいろな素材について	・はさみやのり等の道具の使い方を知り、自分で安全に扱えるようになる。 ・いろいろな素材に触れ、違いや使い方について知識を深める。	・道具を実際に扱って体験し、正しい使い方を身につける。 ・様々な種類の素材を用意し、扱い方を分かりやすく伝える。	
	季節の工作	7	6	・夏をテーマに工作 ・スクラッチアート	・はさみやのり等の道具の使い方を知り、自分で安全に扱えるようになる。 ・いろいろな素材に触れ、違いや使い方について知識を深める。	・道具を実際に扱って体験し、正しい使い方を身につける。 ・様々な種類の素材を用意し、扱い方を分かりやすく伝える。	
2 学期	校外学習に向けて 校外学習の思い出	9 10	9	・校外学習の事前学習と思い出作品作り	・自分の経験と印象を通じたイメージを、上手に表現できる力をつける。	・活動内容を写真などで振り返り、イメージをもちやすくする。	
	粘土素材を使って	10 11	9	・小物づくり	・粘土に触ったり、形を作ったりする。 ・大まかに手順を理解する。	・手順書を用意する。 ・道具を安全に扱うように環境を整える。	
	日本の伝統工芸 ステンドグラスを作ろう	12	6	・伝統工芸品に関する作品作り ・光を通す立体を作る	・日本の伝統工芸について興味をもち、作品を制作する。 ・素材の変化に気づき注目する	・IT機材を活用し、視覚的に分かりやすくする。 ・道具を安全に扱うように環境を整える。	
	足立フェスタに向けて①	1	6	・小道具、装飾作り	・みんなで協力して制作する。 ・自分の役割を分かって制作する。	・行事に関連することで意欲を高められるようにする。	
3 学期	足立フェスタに向けて②	2 3	5	・大道具、装飾作り ・作品展示	・みんなで協力して制作する。 ・自分の役割を分かって制作する。 ・作品を丁寧に扱ったり、並べたりする。	・行事に関連することで意欲を高められるようにする。	
	季節の制作	2	3	・バスボムを作ろう ・自画像	・道具の使い方を知り、自分で安全に工夫して扱えるようになる。 ・いろいろな素材に触れ、違いや使い方について知識を深める。	・道具を実際に扱って体験し、正しい使い方を身につける。 ・様々な種類の素材を用意し、扱い方を分かりやすく伝える。	
	1年間のまとめ	3	2	・共同制作 ・作品鑑賞 ・作品ポートフォリオ	・協力して制作する。 ・一年間の自分の活動を振り返り、作品を見る。	・経験したことのある題材を設定し、主体的に取り組みやすいようにする。 ・自分の作品を一つずつ鑑賞し、達成感を味わえるような言葉かけをする。	

令和6年度 東京都立足立特別支援学校 年間指導計画

学部	高等部 普通科	学年	2年	学習グループ	Bグループ(12人)	教科等名	美術
年間授業時数	37	使用教室	2-1教室	陶芸室		使用教科書	美術資料(秀学社)
曜日・校時 担当教員	水曜日	3時間目(10:35~11:25)	MT	藤澤由佳	ST	蓮沼 淳子	
	水曜日	4時間目(11:30~12:20)	MT	藤澤由佳	ST	蓮沼 淳子	
ねらい	(1) ・表現する楽しさや喜びを味わい、色や形を生かして進んで制作する。						
	(2) ・様々な素材や用具に触れ、適切に扱う。						
	(3) ・日本の伝統工芸について知り、良さに気付く。						
学期	単元名	月	時数	主な学習内容	ねらい	手だて	
1 学期	オリエンテーション 色の作り方	4	3	・色相環、補色、反対色 ・モダンテクニック	・色を自分で選び混色をする。 ・モダンテクニックに興味をもつ。	・実際に色を混ぜて変化を体験し、視覚的に分かりやすくする。 ・簡単にモダンテクニックできるような教材を工夫する。	
	体育祭に向けて	5	5	・体育祭ポスターの内容に応じた表現 ・工作	・好きな色や形の紙を選び、ポスターを完成できるようにする。 ・体育祭の思い出を振り返って制作する。	・ポスターの見本、レタリングの方法、競技の内容などを提示し、見直しをもって取り組めるよう工夫する。	
	季節をテーマとした絵画	6	2	・花や果物の観察、描画 ・いろいろな素材について	・はさみやのり等の道具の使い方を知り、自分で安全に扱えるようになる。 ・いろいろな素材に触れ、違いや使い方について知識を深める。	・道具を実際に扱って体験し、正しい使い方を身につける。 ・様々な種類の素材を用意し、扱い方を分かりやすく伝える。	
	季節の工作	7	3	・夏をテーマに工作 ・スクラッチアート	・はさみやのり等の道具の使い方を知り、自分で安全に扱えるようになる。 ・いろいろな素材に触れ、違いや使い方について知識を深める。	・道具を実際に扱って体験し、正しい使い方を身につける。 ・様々な種類の素材を用意し、扱い方を分かりやすく伝える。	
2 学期	校外学習に向けて 校外学習の思い出	9 10	9	・校外学習の事前学習と思い出作品作り	・自分の経験と印象を通じたイメージを、上手に表現できる力をつける。	・活動内容を写真などで振り返り、イメージをもちやすくする。	
	粘土素材を使って	11	3	・小物づくり	・粘土に触ったり、形を作ったりする。 ・大まかに手順を理解する。	・手順書を用意する。 ・道具を安全に扱うように環境を整える。	
	日本の伝統工芸 ステンドグラスを作ろう	12	3	・伝統工芸品に関する作品作り ・光を通す立体を作る	・日本の伝統工芸について興味をもち、作品を制作する。 ・素材の変化に気づき注目する。	・IT機材を活用し、視覚的に分かりやすくする。 ・道具を安全に扱うように環境を整える。	
	足立フェスタに向けて①	1	3	・小道具、装飾作り	・みんなで協力して制作する。 ・自分の役割を分かって制作する。	・行事に関連することで意欲を高められるようにする。	
3 学期	足立フェスタに向けて②	2 3	2	・大道具、装飾作り ・作品展示	・みんなで協力して制作する。 ・自分の役割を分かって制作する。 ・作品を丁寧に扱ったり、並べたりする。	・行事に関連することで意欲を高められるようにする。	
	季節の制作	2	2	・バスボムを作ろう ・自画像	・道具の使い方を知り、自分で安全に工夫して扱えるようになる。 ・いろいろな素材に触れ、違いや使い方について知識を深める。	・道具を実際に扱って体験し、正しい使い方を身につける。 ・様々な種類の素材を用意し、扱い方を分かりやすく伝える。	
	1年間のまとめ	3	2	・共同制作 ・作品鑑賞 ・作品ポートフォリオ	・協力して制作する。 ・一年間の自分の活動を振り返り、作品を見る。	・経験したことのある題材を設定し、主体的に取り組みやすいようにする。 ・鑑賞時は、達成感を味わえるような言葉かけをする。	